

科名 泌尿器
 対象疾患名 尿路扁平上皮癌
 プロトコール名 GEM+NDP

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	...	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓							↓		
2	点滴注	側管	パロノセトロン アロカリス デキサート	0.75mg 235mg 4.95mg	30分かけて	↓									
3	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	800mg/m ² 100mL	必ず30分かけて	↓									
4	点滴注	側管	アクプラ 生食	60mg/m ² 500mL	60分かけて	↓									
5	点滴注	側管	ソルアセトF	500mL	60分かけて	↓									
6	点滴注	側管	ソルアセトF	500mL	60分かけて	↓									
7	点滴注	側管	デキサート 生食	6.6mg 50mL	30分かけて								↓		
8	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	800mg/m ² 100mL	必ず30分かけて								↓		

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(90%以上)

day2-4にデキサメタゾン錠を朝、昼食後に4mg/回

〈ゲムシタビン〉

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

- ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。